

プレ・インターンシップ体験報告

所属：看護学部看護学科

業種：行政

期間：25年3月4日(月)～25年3月8日(金)

地域の住民の方の健康づくりのサポートや病気の予防等を行う保健師を現在、私は目指しています。特に行政で働く保健師に興味があり、大任町役場で働く保健師や看護職の方の仕事内容や地域の住民の方との話し方や接し方などを見学し、今後の参考にしたいと思い、参加させて頂きました。

健康運動・介護予防教室では、役場の看護師の職員の方と一緒に、公民館に行き、高齢者の方向けの健康運動教室に参加しました。主に体操を指導するのは外部から依頼した理学療法士の方です。看護師の職員の方は、転倒しそうな高齢者の方の側において怪我が起きないように補助を行っていました。今回、私は、そのような補助は行わずに、高齢者の方々と一緒に体操や脳トレと一緒に参加させて頂きました。体操終了後は高齢者の方々と共にお茶を飲んだり、雑談をしたりしました。運動教室ではお年寄りの方から話しかけられることが多く、気を遣うこともなく和やかな雰囲気でした。今回、参加した所はとても明るくフレンドリーなお年寄りばかりでしたが、今後、保健師などの医療職として高齢者の方を相手にする仕事に就いた時は、もっと怖い方や心を開くことが難しい方が多いと思います。そのような方とも人間関係がしっかり築けるように、会話を膨らませたり続けたりする練習が必要だと思いました。

1歳6か月児健康診断の見学では、役場の衛生係長の保健師の方と一緒に1歳6か月児健康診断を見学させて頂きました。健診会場の設置を行い、健診の受付を私はやらせて頂きました。受付では会場にこられたお母さん方に簡単な質問を行っていました。会場で私は質問を行うことで頭の中が一杯でした。しかし、お母さんやお子さん方に対し、保健師の方は常に笑顔であることやさりげない気配りなどをとても自然に行っていました。医療職は人と接する職業であるため、さりげない気遣いや笑顔を作ることが非常に重要であり、これらができるように心掛けていきたいと思いました。

